

【事務事業調査】

事務事業名	敬老会事業費			予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 001-030103-003-04-04-0
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担 当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉 恵子	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	75歳以上の高齢者を対象として地域で実施される「敬老のつどい」事業を助成し、地域住民みんなが高齢者の長寿を祝う。 また、81歳、91歳の節目の年齢の方及び100歳以上の方に、年齢に応じて敬老祝金を贈呈する。現行条例では9月15日を基準日として年1回の支給となっているが、21年度から誕生日月ごとに翌月支給とする。21年度については経過措置として、前年度の9月16日以降から年度末までに該当年齢に達する方を対象とする。 更に、95歳以上の方には、祝詞と共に記念品を、88歳の方には米寿の記念品を贈呈する。	高齢者の長寿を祝い、明るく豊かな長寿社会を目指す契機となる。 高齢者の生きがいづくりに繋がるとともに、地域においてそれぞれの実状に応じた敬老のつどいが実施されることで、高齢者にとっては身近な仲間との顔の見えるひとときを過ごすことができ、孤立防止にもつながり、また地域で高齢者を囲んでの行事をもつことで地域の交流が深まり、各年代それぞれが地域の一員であることの認識を新たにすきかけづくりになる。
実績	75歳以上の高齢者の長寿を地域全体で祝い「敬老のつどい」の実施を支援するため、対象高齢者の人数に応じて交付金を交付しました。 そのほか、敬老記念品、敬老祝金を計画通りに贈呈しました。	高齢者の生きがいづくりに繋がるとともに、地域においてそれぞれの実状に応じた敬老のつどいが実施されることで、高齢者にとっても、また地域住民にとっても、仲間づくりや地域の活性化につながる事が期待できます。

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
敬老のつどい参加高齢者数 75歳以上高齢者 3,265人(当初予定人数)の29%	946人	1,183人	対象者総数：3,281人(実績人数) 参加率：36.1% (H20年度：33.6% H19年度：7.0%)

■事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償品	2,400,000
2 消耗品費	20,000
3 交付金	3,461,000
4 通信運搬費	841,705
5 扶助費	12,640,000
6	
7	
8	
	19,362,705

■事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償品	2,406,000
2 消耗品費	20,000
3 交付金	3,300,000
4 通信運搬費	804,000
5 扶助費	7,350,000
6	
7	
8	
	13,880,000

■事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 報償品	2,174,200	敬老者記念品
2 消耗品費	13,356	敬老祝品ハガキ用ラベル等
3 交付金	3,122,000	敬老のつどい地域支援交付金
4 通信運搬費	478,120	敬老祝金申込用切手 敬老のつどい招待状用ハガキ
5 扶助費	5,960,000	敬老祝金
6		
7		
8		
	11,747,676	

■事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		13,880,000	
	補正予算額		-178,000	
	流用額		0	
	予算現額		13,702,000	
決 算	決算額		11,747,676	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	19,362,705	11,747,676	